



日高ロータリークラブ WEEKLY

2024-2025 R.1テーマ
ロータリーのマジック

THE ROTARY CLUB OF HIDAKA

例会日	毎週火曜日	時間	第1・3週 18:00~19:00 第2・4週 12:30~13:30
例会場	日高市商工会	住所	〒350-1206 日高市南平沢1083 日高市商工会館内
事務所	同上	TEL. FAX	042 (985) 3355
会長	古本良子	幹事	谷野秀之 会報委員長 上野宗久

第1894回例会 2024年8月20日(火) ガバナー補佐訪問

2024年9月3日発行 第1695号

本日のお客様 第3グループガバナー補佐 倉片順司様(所沢 RC)
本橋敬明様(所沢 RC クラブ管理運営委員長)

会長の時間 古本良子会長

本日は『ガバナー補佐訪問』でございます。倉片順司ガバナー補佐様に於かれましては、お暑い中早々に御来訪下さいまして帳票チェックを済ませて頂きました。ありがとうございました。またクラブ協議会に於いて、改めて御指導を賜りたいとおもいます。

幹事報告 谷野秀之幹事

地区事務所より

- ・ロータリー・リーダーシップ研究会-Part I 案内-
10月26日(土) 開会点鐘 9時15分 閉会点鐘 16時45分(予定)
会場：国立女性教育会館(ヌエック)

結婚誕生祝 小坂雅彦親睦副委員長



【誕生日】

8月 白井 威夫人 幸江様
清水佳代子夫君 文夫様

クラブ協議会 第3グループガバナー補佐 倉片順司様(所沢 RC)

この度、第3グループガバナー補佐を拝命しました。クラブと地区を結びつける役割として五十幡ガバナー年度のスローガン『入って良かったロータリー』を念頭に、各クラブの活性化とロータリー活動の楽しさを、自らの経験をもって提案できるよう努めます。2570地区のロータリアンには、地区の活動に参加されていない方が多くいらっしゃると思いますが、私自身もロータリー歴18年目にして、地区の活動にはほとんど参加できていませんでした。また、毎年地区役員組織図を見ると、地区北部からの出向者が多く、第3グループのある南部からの出向者が少ないようです。この理由を分析し、地区との橋渡しを実現したいと考えています。第3グループは、入間市に2クラブ、所沢市に5クラブ、狭山市に2クラブ、飯能市、日高市に各1クラブ、合計11クラブ約400名の会員で構成されています。飯能さんと日高さんは、合同で親睦活動をするなど、クラブが互いに連携し良い関係を築かれているとおもいます。会長幹事会では、『入って良かったロータリー』をテーマにしたグループ討議を定期的に行い、地区より各委員長を講師に招き、ロータリーを楽しむ方法について学べる機会を提供したいと思います。そして各会長幹事は、ここで得た知識をクラブに持ち帰り、会員各位に紹介していただきたいと考えています。年間を通しての指針目標(活動)ですが、具体的には次のような活動を行います。☆方針の伝達：ガバナーの方針や目標を理解し、各クラブに伝えます。☆情報共有：各クラブから情報を収集し、成功事例やアイデアを共有します。☆サポート：各クラブがガバナーの方針を実行する際に必要なサポートをします。☆問題解決：各クラブで発生する問題や課題に対処し、解決策の助言や支援をします。☆モチベーションの維持：モチベーションを高める活動やイベントを企画し実施します。これらの活動を通じて、ロータリーの理念を具体的な行動に結びつけ、地域社会に貢献したいと考えております。



第2部として(笑)、私の自己紹介(職業紹介)をさせていただきます。所沢市でございます、榎倉片人形の5代目を勤めさせて頂いております。当店ですが、1839(天保10)年から続く老舗店でございます。節句のひな人形や五月人形をはじめ、こいのぼり、市松人形、羽子板、破魔弓、日本人形などの日本伝統工芸品を専門の職人さんが手作りで制作しております。多様化する現代の住宅事情に合わせて、セット売りではなく、人形や屏風、飾り台などを自由に組み合わせたものがご好評頂いております。ここで、少しだけ『ひな祭り』の雑学をお話させていただきます。ひな祭りで必ず耳

にする有名なあの童謡『うれしいひなまつり』という童謡がございます。「あかりをつけましょぼんぼりに〜♪」というあの歌です。実はあの歌詞には、2つ間違いがございます。「お内裏様とお雛様〜♪」という歌詞がありますが、実はお内裏様というのは、並んでいる2人の総称なのです。ですから「お殿様とお姫様」と呼ぶのが正しいのです。もうひとつは「赤いお顔の右大臣〜♪」という部分がございます。赤い顔をしているのは、実は左大臣なのです。この間違いは、作詞をしたサトウハチロー先生御自身も認めていて、ご本人はこの歌をあまり歌いたがらなかったと、御身内から直々にお聞きしたことがございます。そして良く聞かれますのが「そもそも、ひな祭りにはどのような意味があるのでしょうか…」ということです。ひな祭りの歴史は平安時代まで遡ります。『上巳の節句』とって、3月の始めの巳の日に、無病息災や五穀豊穡を神様にお供えをして感謝していました。また、紙の人形を身体になでつけることで災厄を人形に移して川に流していました。このような行事と、女の子の間で行われていた人形を使った遊び(ひいな遊び)が重なり合って、だんだんと現在のよう『ひな祭り』に変化してきたといわれています。『節句』とはもともとは『節供』と書き、節目のときに神様にお供え物をしてお礼をすることを意味していたとのこと。人形を飾ってお祝いをする『祭り(フェスティバル)』の意味合いを持つようになったのは、江戸時代以降だそうです。また、雛人形のお姫様は、実は生まれた女の子の将来の姿なのです。横に並んでいるお殿様は、未来の旦那様ということになります。毎年3月3日にひな祭りのお祝いをする家庭は多いと思いますが、本来の意味は、神様に「将来、幸せな結婚ができますように」とお供えをしてお願いすることなのです。そして最後になりますが「雛人形は代々受け継ぐものではないの?」とも質問されることがございます。親が自分のときに使った雛人形をそのまま子どもに飾る方も多いようですが、できれば子ども用の雛人形を用意してほしいと思います。前段でも説明しましたが、雛人形は持ち主の将来の姿なのです。親の雛人形はあくまでもお母さんのものであり、並んでいるお殿様とお姫様はお父さんお母さんの姿となりますよね。飾ること自体は素晴らしいのですが、子ども自身の雛人形を用意してあげると、その子の厄を移す役割を果たし、将来幸せな結婚ができるようにとお祈りできます。同様の理由から、女の子のきょうだいがいる場合は、やはりそれぞれの雛人形があると良いですね。あくまで、雛人形はひな祭りの飾り物ではなく、持ち主の分身であり厄を肩代わりしてくれるものです。毎年親子で触って、飾って、人形を買ってくれた方へ感謝しながら、大切にさせて頂きますと大変に嬉しいです。そしてこちらは御紹介になるのですが…当社が忙しくなりますのは冬季ですので、夏場は閑散期となります。そこで、何か社会貢献的な商いはないだろうかと考えまして、2021年7月にかき氷専門店『けずり氷 雛物語(けずりひ ひなものがたり)』を当店内にオープン致しました。伝統工芸品に囲まれ、ひんやりとゆっくり過ごせる空間が心地よいと、お蔭様でご好評を頂いております。年間を通して「雛人形や五月人形に触れるきっかけを作りたい」という思いからオープン致しましたが、ここがご家族の良き触れ合いの場になるようで、おじいちゃんおばあちゃん、お孫さんを通してお父様お母様と、多世代の方がご来店して下さいます。現代で言う『映える』派手なかき氷ではございませんが、伝統を感じるその昔ながらの姿が逆に『素敵』『落ち着く』とご好評を頂いております。航空公園の近くでございますので、お近くに遊びにいらした際は是非お立ち寄り下さいませ。最後になりますが、実は私の娘が日高市の高麗神社で神主をさせて頂いております。ひよんなきっかけから神道に興味を抱き、高校生の時に「お父さん、神主になるにはどうしたらいいの?」と聞かれました。私は「それなら、國學院大學の神道文化学部を目指したら」とアドバイス致しました。すると娘はそれから一直線…他大学、他学部には一切興味を持たず、目標に掲げた通り、國學院大學神道文化学部へ入学致しました。そして高麗神社さんへ入社させて頂きました。現在娘は日高市に住んでおります。このように、個人的にも日高市には御縁を頂きましたので、今後とも日高 RC 会員皆様には仲良くして頂きたいと思っております。本日はありがとうございました。

出席報告	8月20日	会員数	出席数	出席免除	欠席数	出席率	7/30 修正率
	夜間	18	12	2	6	68.75%	55.5%

ニコニコボックス報告 12名 合計金額 16,000円 累計金額 65,000円